

**平成23事業年度の業務実績に関する評価結果（案）に対する
法人意見及び評価委員会の対応（案）**

項 目	1 教育研究等の質の向上 (1) 教育 【評価及び指摘事項】（資料2 P.4）
修正箇所	○ 学生の国際交流の促進について、派遣学生数が大幅に増加し、新たに交流協定を締結したことについて評価する。 派遣状況：山東大学7名、ハワイ大学1名、カリフォルニア大学4名、ハーバード大学3名（22年度：4校9名）
修正内容	上の内容を〈医学部〉ではなく〈全般〉に記載する。
修正理由	派遣状況に記載している「山東大学7名」のうち5名と、「ハーバード大学3名」は、保健看護学部生であるため。
評価委員会の対応（案）	法人の修正案どおりとする。

平成23事業年度の業務実績に関する評価結果（案）に対する 法人意見及び評価委員会の対応（案）

項 目	<p>1 教育研究等の質の向上 (4) 地域貢献 【評価及び指摘事項】（資料2 P.8）</p>
修正箇所	<p>○ 大学の地域貢献として、大学教員が地域病院等へ出向き、専門的な知識を教授・指導を行うことについて検討されたい。</p>
修正内容	<p>全文を削除する。</p>
修正理由	<p>本学の教員は、すでに法人化以前より、非常勤教員として県内外の病院や大学に出向き、診療等を行っているため。 （平成23年度 延べ414件）</p> <p>ただし、中期計画や年度計画には記載しておらず、実績も公表していない。</p>

評価委員会の対応（案）	<p>大学の地域貢献として、大学教員が地域や関係機関病院等へ出向き、<u>公開講座や研修等を通し、専門的な知識をの教授・指導を積極的に行うことが望まれる。</u>うことについて検討されたい。</p>
-------------	--

平成23事業年度の業務実績に関する評価結果（案）に対する 法人意見及び評価委員会の対応（案）

項 目	1 教育研究等の質の向上 (5) 産官学の連携 【評価及び指摘事項】（資料2 P.9 ）
修正箇所	○ 寄附講座「運動機能障害研究開発講座」の新規開設について評価する。今後、 <u>当該講座</u> から得られた成果の内容を示していくことが望まれる。
修正内容	「当該講座」を「寄附講座」とする。
修正理由	成果の内容を示すことは、新規開設した「運動機能障害研究開発講座」に限ることではないため。

評価委員会の 対応（案）	「当該講座から」を「その他の寄 附 講座も含め、」と修正する。
-------------------------	--

平成23事業年度の業務実績に関する評価結果（案）に対する 法人意見及び評価委員会の対応（案）

項 目	3 財務内容の改善 (2) 経費の抑制 【評価及び指摘事項】（資料2 P.11 ）
修正箇所	○ 電気、ガス及び医療材料費などの削減努力が行われているが、現時点ではその効果はわずかである。その他の経費も含めて全組織的な継続した取組になるように期待したい。
修正内容	全文を削除する。
修正理由	<p>電気、ガスについて、使用量ではいずれも前年度を下回った。 使用料金では、電気は前年度を下回った。（前年度比 約 90.1% 約 27,140 千円減） 一方、ガスは前年度を上回った（前年度比 約 122.6% 約 59,092 千円増）が、それはガス使用料金の単価の高騰（以下参照）が原因である。</p> <p style="text-align: center;">ガス単価（年間支払額／年間使用量：円／N m³） 前年度比 約 122.9% 約 12.5 円上昇</p> <p>また、医療材料費については、当該評価の直前において、経費削減の努力に対する評価をいただいております（以下参照）、効果はわずかではないと考えているため。</p> <p style="text-align: center;">医薬材料比率（医薬材料費／医業収益×100：%） 平成23年度 34.65%（前年度比 1.56ポイント減）</p>

評価委員会の対応（案）	<p>電気、ガス及び医療材料費などの削減努力が行われているる。が、現時点ではその効果はわずかである。その他の経費削減も含めて引き続き全組織的な継続した取組を行い、さらなる経費削減をになるよう期待したい。</p>	
	H23	H22
	総合エネルギー消費実績 (電気+ガス)	437, 576 GJ
	433, 997 GJ	437, 576 GJ